

The outline of 17th R&D symposium

第17回 JR東日本R&Dシンポジウム

「鉄道のさらなる環境負荷軽減をめざして」について

JR東日本R&Dシンポジウムは、当社の研究開発の取り組みを社内外に発信するとともに、その分野の有識者の方からのご講演やディスカッションを通じて、今後の当社グループにおける研究開発の推進を目的として開催しています。

近年、環境問題として地球温暖化が深刻な問題として取り上げられています。鉄道は、単位輸送量あたりのCO₂排出量が少ない交通機関として注目されていますが、他の交通機関もそれぞれの分野においてCO₂の削減や、省エネルギー技術への取り組みを進めています。当社においても環境負荷軽減を目指し、これまでない発想を取り入れ、さらなる取り組みが必要と考えます。このような状況をふまえ、今回のテーマを「鉄道のさらなる環境負荷軽減をめざして」として、2010年11月10日に第17回R&Dシンポジウムを開催しました。今号のJR EAST Technical ReviewNO.34では環境負荷軽減に関する講演についてご紹介します。

	
第17回 R&D SYMPOSIUM 「鉄道のさらなる環境負荷軽減をめざして」	
■ オープニングスピーチ	13:30~13:40
東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長	清野 智
■ 基調講演	13:40~14:40
『自然エネルギーの活用を目指すエネルギーマネジメントの現状と展望 ～太陽光発電システムを中心として～』	
早稲田大学 理工学術院 教授	若尾 真治 様
■ 講演	14:40~15:20
『CO ₂ 削減に向けた研究開発』	
東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 環境技術研究所長	真保 光男
(休 憩)	
■ パネルディスカッション	15:45~17:30
『環境負荷軽減をめざして』	
<パネリスト>	
早稲田大学 理工学術院 教授	若尾 真治 様
株式会社 竹中工務店 環境・エネルギー本部 温暖化対策グループリーダー	中村 慎 様
株式会社 本田技術研究所 四輪R&Dセンター 第5技術開発室 第2ブロック 主任研究員	為乗 浩司 様
みずほ情報総研株式会社 環境・資源エネルギー部 環境経営チーム チーフコンサルタント	村上 智美 様
東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 環境技術研究所長	真保 光男
<コーディネーター>	
東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 技術企画部長 兼 JR東日本研究開発センター所長	荒井 稔
■ クロージングスピーチ	17:30~17:35
東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長	小縣 方樹

図 第17回R&Dシンポジウム プログラム